

社員の密かなささやき！

藤澤 國彦

昨年10月の辞令に伴い、10年間慣れ親しんできた衛生害虫管理部門から白あり営業部門に担当替えになりました。

以前の部門では、お客様がお困りの問題をお聞きし、その対策をいろいろご提案させて頂きました。自分の提案が運よく採用していただけた時の喜びは、今後も決して忘れることはないでしょう。

新しい業務に決まった時は、期待と共に果たして自分で出来るかとの不安もよぎりました。

工務の人達に現場での仕事の流れを、又営業の人達にはそれぞれの営業スタイルを教えてもらいました。

そこで改めてわかったことは『各部門それぞれに違った大変さがあるということ』

指導を受けながら三ヶ月を過ぎた頃から少しずつではありますがご契約もいただけるようになりました。

さらに勉強を重ねつつ、お家にとってとても大切な床下の環境が良くなるようにいろいろご提案させて頂こうと思います。

今、改めて確信したことは、部門は違ってもお客様の気持ちになって考えていこうということです。

今後もお客様に解りやすい説明と、正確な見積もりをし、信頼される営業マンを目指してがんばります。 以上



虫コウク その6 ヤスデの大群

昨年、雨が降ると大群で家の外壁にムカデのような、でも、ものすごく動きが遅い虫を見かけたことはありませんか？その正体はヤスデです。(写真)

ヤスデは5月頃から目にするようになり、6月頃の梅雨時期に集中して見られます。普段は石や倒木、落ち葉などの下で生活している為あまり見かけませんが、なぜ梅雨時期に外壁やブロック塀などを登ってくるのでしょうか？



「雨が好きで思わずうれしくて塀に登ってしまうのでは？」
 「きれい好きで体の汚れを雨で洗い流したいのでは？」
 「雨に打たれて嫌なことを忘れたい？」など色々思われたかもしれませんね。理由は単純で「地面付近で雨がたまると溺死してしまうから」だそうです。

ヤスデはムカデのように咬むこともなく、自然界では落ち葉など腐植物を分解してくれる益虫ですが、人間側から見ると(特に虫嫌いの方)、グロテスクな容姿で外壁を大群で登ってきたり、家の中にまで侵入して畳の上を這うなど不快感を与えているようです。又、胴節左右の臭腺から黄褐色の液体を分泌し、刺激臭も発します。

ヤスデ対策としては、乾燥した場所を嫌いますので、まず家の周辺に溜まった枯れ葉や落ち葉、腐朽した木材などを除去して、住みにくい環境作りが大切です。

家の周りに田畑がある等どうしても環境が変えられない場合は、軒下の壁や基礎外周に薬剤を処理する方法も。屋外での散布になりますので、くれぐれも周辺環境にはご配慮下さい。

昨年はヤスデの当たり年だったのか、たくさんの駆除を承りました。今年もお困り事がありましたらお気軽にご相談下さい。(吉田貴)

●いつまで戦う？ 一体何年戦い続けたらいいのか、まもなくシロアリの繁殖時期が近づきます。お困りになっているお宅に出くわすと、最小限で収まってほっとするお宅と、被害に触れたくないお宅とあります。そんな時には「どうでした？」とお声をお掛け下さいね。(ありのままをご説明するよりしょうがないか)

ささやがプレゼント

今回は但馬牛の焼肉用スライス(写真のもの)をプレゼントします。

〈締切は4月30日到着分まで〉

ステーキでなくて申し訳ありませんが、なんてたって本場但馬牛は確かに美味しい。「JAたじま肉の店」より(3,000円相当)8名様にお届け申し上げます。同封のハガキよりご応募下さい。尚、勝手ながらホームページ上からは承っておりません。



前回のプレゼント当選者は丹後ふるさと病院様、田村文次郎様、青木商店様、藤原高明様、堀田忠生様、松宮敏雄様、奥村清孜様、吉岡勁様 以上8名の方々にお届け申し上げます。

あとがき

草木の青さに、春を満喫しつつあるこの頃、こんな時には是非共、有川浩(ありかわ ひろ)の小説「植物図鑑」を二読あれ。もちろん夏にもいいですが、青春の淡い恋愛と共に、何と細やかな大自然の野草の話がいつばい。我々は雑草と呼ぶが、昭和天皇は仰つたそう「雑草という名の草はない。草にはすべてに名前はある」まさに名言なり。

自分の生活環境を見渡してみても、なじみのあるフキノトウ、イタドリ、ワラビ、セイタカアワダチソウ(正式名称はセイヨウカラシナ)などが満載。小生が知らないだけか、ノビルという野草もあるそう。そしてそれらを美味しく食するレシピがある。昔の人は大自然を工夫して食事していた。栄養になったり、薬草になったりしていたはず。今は品種改良して畑に植えて半ば人工的に作られる。これを虫のつかないようにひ弱なままで消毒を施す。これでは体を強くするためのもの(生命力の強さ)にはなり得ないのではないか。骨無し日本人が増えたのも案外こんなところにもあるのではと感ずる。



2月に終わったバンクーバーオリピック。いざというときの強さは食事のあり方にも大いに関係があると思うのだが... 天候の良いときは土手を歩こうかな。自然とのかかわりを深めるためにも。

(安橋)

*裏面はメモとしてお使いください。